

## 第2章 平成29・30年度山口大学構内遺跡の調査

### 第1節 平成29・30年度に実施した遺跡調査の概要

山口大学の関連諸施設は、山口市(吉田・白石構内)、宇部市(小串・常盤構内)、光市(光構内)の県内各市に分散しているが、各構内は「周知の埋蔵文化財包蔵地」内、つまり遺跡の上に立地している。各構内の様相を概観すると、吉田構内は縄文時代後・晩期から江戸時代にかけての全時代を網羅する複合集落遺跡であり、官衙遺跡としても著名である吉田遺跡内に、白石構内は弥生時代から古墳時代を中心とした集落遺跡である白石遺跡内に、小串・常盤構内は旧石器時代から江戸時代にかけての遺物を包含する山口大学医学部構内遺跡内・山口大学工学部構内遺跡内に、光構内は縄文時代から江戸時代にかけての集落遺跡・遺物散布地である御手洗遺跡と月待山遺跡にまたがり立地している。

このような環境のもと、山口大学埋蔵文化財資料館は、山口大学構内に埋存する貴重な埋蔵文化財の保護・調査・研究・活用する施設として昭和52年(1977)に竣工し、昭和53年(1978)に構内遺跡調査要綱(埋蔵文化財資料館規則など)が制定、昭和54年(1979)に教職員が配置されて以降、その重責を担い続けている。当館の平成29・30年度の調査体制は以下の通りである。

まず、各構内において地下掘削を伴う工事が立案・計画された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において事業計画を確認した後、文化財保護法の諸手続のもと、山口大学各構内が所在する地方公共団体(山口県および各市)の指導により、埋蔵文化財保護の観点から本発掘・予備発掘・立会の3

表4 平成29年度山口大学構内遺跡調査一覧表

調査区分	調査名	構内地区	構内地区割	面積(m <sup>2</sup> )	調査期間	本書掲載頁
本発掘 予備発掘	福利厚生施設新営工事	吉田	M-17・18	1,100	2月22日～10月25日	25-105
	福利厚生施設新営工事	吉田	M-17・18	149	1月15～31日	21-24
立会	教育学部附属特別支援学校ガス管引替工事	吉田	C-21 D-20・21	41.5	7月24・25日	106
	解剖実習棟屋外環境整備工事	吉田	R-19	40.3	11月6・7日	107
	環境整備(ため池5)雨水改修工事	吉田	O-6 K-10 L-10	18.5	11月15・24日	108
	理学部1号館駐輪場設置工事	吉田	N-20	3.8	3月13日	109

表5 平成30年度山口大学構内遺跡調査一覧表

調査区分	調査名	構内地区	構内地区割	面積(m <sup>2</sup> )	調査期間	本書掲載頁
立会	福利厚生施設新営工事(緊急)	吉田	M-18	91	3月25～26日	110-113
	福利厚生施設新営工事(設備)	吉田	M-18	20	3月27日	114
	農学部附属農場牛舎改修工事	吉田	T-10	1.35	2月5日	115
	経済学部身障者用駐車場カーポート設置	吉田	K-21	3.6	2月20日	116
	理学部3号館横駐輪場設置	吉田	P-18	64.1	3月5日	117
	実験研究棟(中高温微生物研究センター)改修工事	吉田	O-16	21	10月22・25日 1月15日	118
	国際総合科学部誘導サイン取設	吉田	I-16	0.85	7月12日	119
	基幹・環境整備(ブロック塀対策)工事	吉田	H-22・23 I・J-23・24 K-23	0.54	12月27日	120
	桜花爛漫植替工事	吉田	L-12	51.5	1月30日	121
	音楽サークル棟空調設備設置	吉田	G-14・15	52.4	3月7日	122
	教育学部附属山口小学校運動場鉄棒改修	白石		15	2月18日	123
	総合研究棟(医学系)新営工事(機械設備工事)	小串		6	6月12日	124
	基幹・環境整備及び診療棟・病棟新営工事	小串		75	9月5日 10月25日 2月22日	125
	基幹・環境整備(熱源設備更新)工事	小串		15	10月27日	126
	基幹・環境整備(ブロック塀対策)工事	光		7.3	3月8日	127

種の方法で厳密に調査を行っている。「周知の埋蔵文化財包蔵地」外に位置する大学関連施設（職員宿舎等）敷地内で地下掘削を伴う工事が実施される場合においても、埋蔵文化財の新規発見の可能性を考慮して、できる限り工事掘削時に館員が確認調査を行っている。これらの調査に対する平成29年度の当館の教職員配置は専任教員3名、教務補佐員1名、技術補佐員1名の計5名であり、翌平成30年度の教職員配置は専任教員2名、技術職員1名、技術補佐員1名の計4名であった。

上記の調査の結果、埋蔵文化財が確認された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において、遺跡のさらなる現状変更を避けるべく、工事計画、工法の変更等で現状保存が可能かどうか厳格な協議を行い、保存方法を選定している。また、調査成果については、地方公共団体への報告後、内業整理等を経て可能な限り迅速に発掘調査概報（年報）を刊行している。

上記の体制のもと、平成29年度に当館が実施した大学構内における調査は、表4のとおり本発掘1件、予備発掘1件、立会4件の計6件、平成30年度の調査は、表5のとおり立会15件であった。



写真33 吉田構内航空写真（南東から）



写真34 白石構内（教育学部附属山口幼稚園・小学校）航空写真（東から）



写真35 白石構内（教育学部附属山口中学校）航空写真（南から）



図1 山口大学吉田・白石構内位置図

**吉田構内**(本部、人文・教育・経済・理・農の各学部：山口市吉田1677-1、教育学部附属特別支援学校：同吉田3003所在)

例年どおり、開発工事計画は吉田構内に集中しており、平成29年度の埋蔵文化財調査は吉田構内のみで実施し、平成30年度は立会調査10件を実施した。

平成29年度後期に至り立案された福利厚生施設(山口大学生生活協同組合「FAVO」)新営工事は、構内中央に設けられている「中央広場」をその対象地とするものであった。前年度本学によって提示された『キャンパスマスタープラン2016』では、「図書館前中央広場は各学部の中央にある中心的なパブリックスペースとして有効に利用されている」と評価され、「吉田キャンパスを特色づける空間であるため、将来構想においてもパブリックスペースとして保存し、他ゾーンへの用途変更や開発を行わないスペースとして位置付ける」と明言されていたことから朝令暮改の感があったが、埋蔵文化財保護手続きを経て、平成30年1月より予備発掘調査を開始した。その結果、竪穴式住居跡とみられる大型遺構の一部をはじめ多数の遺構が検出されたため、埋蔵文化財資料館専門委員会にて開発計画変更の可否を審議したが、結論を得なかったため、専門委員会としては遺跡の保存を提言しつつも本学執行部にその最終判断を委ねた。臨時役員会が開催され、審議の結果当初計画通りの開発が決定されたことから、2月末より開発域全体を対象域とする本発掘調査に切り替えることとなった。調査は平成30年度後期まで及び、古墳時代中期の方形竪穴式住居跡4棟をはじめ、掘立柱建物跡、土壇、溝、ピット、縄文時代の埋没河川、風倒木痕など多数の遺構が確認された。特筆すべき成果としては、4号竪穴式住居跡から出土した初期須恵器が挙げられる。初期須恵器は既往調査でも散見されており、吉田構内が立地する平川地区が、山口県内でも最初期に須恵器を導入する地域の一つであることが再確認された。4号竪穴式住居跡に対しては、山口大学生生活協同組合の厚意により、新規建物の設計変更が行われ、埋め戻し保存が行われることとなった。立会調査を実施した4件では、埋蔵文化財に支障が生じなかった。

平成30年度で埋蔵文化財保護上問題となったのは、やはり福利厚生施設新営工事であった。山口大学生生活協同組合により平成29年12月中に行われていた設計変更(地中梁追加)が当館に伝えられておらず、結果虚偽の文化財保護法書類の提出、遺跡破壊に結びついた。工事中に遺跡破壊を確認した当館により緊急立会調査が実施され、部分的な記録保存が行われたが、本学の工事計画窓口となった本学関係部局には猛省を促したい。その他の立会調査では埋蔵文化財の支障を確認していない。

**白石構内**(教育学部附属山口幼稚園：山口市白石三丁目1-2、同山口小学校：白石三丁目1-1、同山口中学校：白石一丁目9-1所在)

平成30年度に立会調査1件を実施したが、埋蔵文化財に支障は生じなかった。

**小串構内**(医学部、同附属病院：宇部市南小串1丁目1-1)

平成30年度に立会調査3件を実施した。開発規模が大きく工事が長期間に及ぶ基幹・環境整備及び診療棟・病棟新営工事に対する埋蔵文化財調査は平成26年度から開始されている。同年度に開発域北西部にて実施した予備発掘調査では、現地表下2.5mに堆積する旧海底面(汽水域貝堆積層)から縄文土器と石錘が出土しており、同地点の西側にて平成27年度に実施した関連工事(自家発電設備工事)に伴う立会調査では、現地表下3mに堆積する旧海底面(汽水域貝堆積層)から弥生土器と石錘が出土している。平成30年度の立会調査は開発域の東部を中心に実施したが、掘削深度が深いことから、安全上土層断面観察に止めた。他の2件の工事掘削は造成土または近世客土内に収まっていた。

**常盤構内**(工学部：宇部市常盤台2丁目16-1、尾山宿舎：同上野中町2658-3所在)

平成29・30年度中に土地の掘削を伴う工事計画は立案されなかった。

**光構内**(教育学部附属光小学校、同光中学校：光市室積8丁目4番1号)

平成30年度に立会調査1件を実施したが、埋蔵文化財に支障は生じなかった。



図2 小串・常盤構内位置図



写真36 小串構内航空写真（南東から）



写真37 常盤構内航空写真（南から）



写真38 光構内航空写真（北東から）

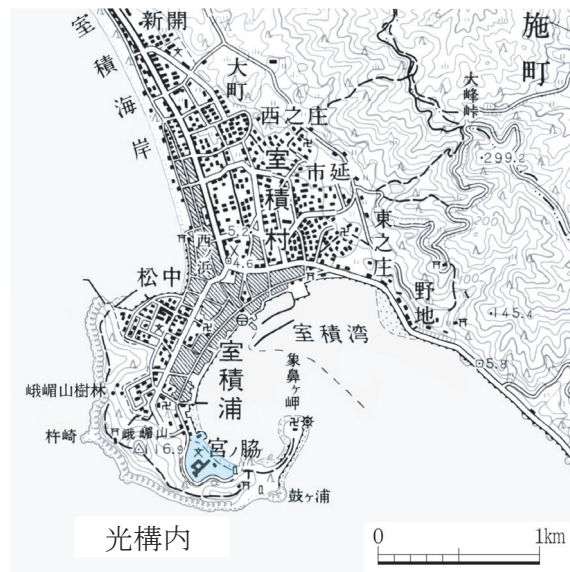


図3 光構内位置図